

令和2年度

長野県生涯学習推進センター

研修講座計画表



～学びが支える地域づくり・人づくり～

このテーマをふまえてセンターでは、地域社会が抱えるさまざまな課題解決に向け、一步を踏み出す人材や、住民自身が主役となる実践活動をリードできる人材を養成するための講座を開催します。

- 地域活動の推進役、ファシリテーターの養成、地域活動に取り組む人材の育成
- 県内各地での活動者のネットワークづくり
- 災害に強い地域組織の育成
- 障がい当事者視点での地域づくり
- 中信地区以外へ、広く主催講座を実施
〔上田市・飯田市・須坂市〕

- 感情のコントロールが苦手、ネットに依存してしまう、体力・学力低下など現代の子ども達が直面している問題の理解と対応
- 発達障がいについての理解とその対応
- センターから遠方にお住まいの皆さんに「移動講座」として、県内各地域で希望するテーマでの受講機会
〔茅野市・伊那市・長野市・小諸市〕

受講料 無料

地域づくり
推進研修

地域の教育力
向上研修



地域と
学校の連携
推進研修

施設開放

ぜひ、ご受講ください!

- 社会が複雑多様化する中、子どもを取り巻く課題解決には、学校と家庭・地域が連携することが不可欠
- 今年度は、ESDやSDGsの理念や内容を学び、学校・社会教育でできることを考える

- 総合教育センターとの共催で行う「しののめ塾」や施設内の「天体観測室」を地域開放
- 多くの県民の皆さんの参加により、当センター事業に対する理解を深める

※開催場所の記載がない講座は、長野県生涯学習推進センターで開催します。



★地域づくり推進研修 【共催】長野県公民館運営協議会

No	講座名・募集定員・託児・開催場所	実施日	研修の概要・連絡等
①	<p>防災！一瞬の判断と備え</p> <p>募集定員 150名</p>	<p>延期 12/11(金) 5月29日(金)</p>	<p>近年、経験したことがない自然災害が全国各地で発生しています。阪神・淡路大震災の体験をもとに、東京大学と連携し最前線の防災研究をされている講師をお招きし、日頃から備えておくべきことや地域での人と人との繋がりの大切さを考えるとともに、演習を通じて学校を避難所に想定した災害時の対応について学びます。 講義Ⅰ および演習 「学校を避難所に想定した避難所運営ゲーム」 講義Ⅱ 「一瞬の判断と備え」 ～あなたは突発的な自然災害に対処できますか～ 講師 兵庫県広域防災センター防災教育専門員 神戸大学大学院都市安全研究センター 田中 健一</p>
②	<p>共生社会の実現 ～障害当事者視点で長野県の地域づくりを考える～</p> <p>手話通訳あり</p> <p>募集定員 80名</p>	8月29日(土)	<p>誰もが安心して暮らせる「共生社会」の実現が、今、社会の大きな目標となっています。講座では「共生社会」の現状と課題について、障害者福祉を専門とされる講師から学ぶとともに、書字障害、聴覚障害や覚醒障害当事者のパネルディスカッション、受講者参加型の演習を通して、障害当事者視点での地域づくりを考えます。 パネルディスカッションⅠ 「自己紹介と障害の経験」 パネラー 東京都立大学理学部数学科 2年 金坂 律 CIL上田Groping 代表 井出 今日我 (社福)長野県聴覚障害者協会塩尻市聴覚障害者協会 役員 森下 尚子 塩尻市手話講座運営委員会 委員長 コーディネーター 東京都立大学人文社会学部社会福祉分野 教授 杉野 昭博 情報提供 「障害のある若者支援の意義と実際」 講師 東京都立大学人文社会学部社会福祉分野教授 杉野 昭博 パネルディスカッションⅡ 「障害のある若者支援の経験と意義」 パネラー・コーディネーターはⅠと同じ 演習 「長野県での障害のある高校生向けイベント企画案の作成」 講師 東京都立大学人文社会学部社会福祉分野教授 杉野 昭博</p>
③	<p>学び続けるために ※申込期間6/1～7/31 先着順 ※要 入場券(申込後に送付)</p> <p>手話通訳・要約筆記あり</p> <p>募集定員 400名ほど</p>	9月10日(木) 午後	<p>地域社会は困難な課題に直面しており、グローバル化の中でそれらの諸課題は世界や日本の動向に直結しています。本講座では、世界情勢に精通される講師から現代の諸課題をひも解いていただき、私たちがどのように学び合い、地域づくりを進めていくのか、また、そのときに公民館にはどのような役割が期待されるのかについて考えます。 講義 「学び続けるために」 講師 ジャーナリスト 池上 彰 ・他の講座とは異なる事前申込み・参加方法となります。</p>
④	<p>長野県の子どもの自殺の現状と課題 ～私たちにできること～</p> <p>上田文化会館ホール(上田市)</p> <p>募集定員 100名</p>	10月7日(水)	<p>若年層を除く自殺者数は減少傾向にありますが、未成年者の自殺死亡者数はやや増加傾向にあります。県内では未成年者の自殺死亡率が全国の中でも高い水準にあり、子どもの自殺対策は喫緊の課題です。本講座では、子どもの自殺の実態について理解を深めるとともに、私たちが小さな気遣いで日常的にできる支援について学びます。 説明 「長野県の子どもの自殺の現状及び対策について」 講師 長野県健康福祉部保健・疾病対策課 講義・演習 「大切な人の悩みに気づく、支える私たちにできること」 ～あなたもゲートキーパーに！～ 講師 長野県精神保健福祉センター 講演 「子どもの自殺の現状と対策の課題」 ～いま私たちにできること～ 講師 NPO法人自殺対策支援センターライフリンク 代表 清水 康之</p>
⑤	<p>公民館の現代的役割を考える ～“温故創新”草創期と今、そして未来をつなぐ～</p> <p>募集定員 80名</p>	11月27日(金)	<p>少子高齢人口減少により、多くの地域が存続の問題を抱えています。一方地球温暖化が原因と思われる豪雨災害などが多発し、各地で復旧・復興の取組が進められています。住民自身による郷土復興の拠点として誕生した公民館ですが、このように新たな課題が取り巻く現代の地域社会における、これからの公民館の役割とは何かを考えます。 講義 「公民館の現代的役割を考える」 講師 日本公民館学会会長 日本体育大学スポーツマネジメント学部 教授 上田 幸夫 事例発表 「長野県内の公民館の取組事例から」 座談会 「私にとっての公民館、地域にとっての公民館」 登壇者 上田 幸夫 実践発表者2人</p>
⑥	<p>子どもの貧困問題と対策</p> <p>鼎文化センター(飯田市)</p> <p>募集定員 150名</p>	2月4日(木) 午後	<p>ひとり親家庭の増加や地域とのつながりの希薄化を背景に、7人に1人の子どもたちが相対的貧困の状態に置かれていると言われます。県内でも子ども食堂などの支援活動が広がっています。今年度も湯浅先生をお迎えし、全国の事例に学び、さらに貧困問題に取り組む団体の実践発表をお聞きして、いま私たちにできる事を考えます。 講義 「1ミリでも進める、子ども若者の貧困対策(仮)」 講師 社会活動家 東京大学特任教授 NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ 理事長 湯浅 誠 事例発表 「域内事業所・グループによる取組事例の紹介」 意見交換(講師・事例発表者・参加者)</p>

No	講座名・募集定員・託児・開催場所	実施日	研修の概要・連絡等
⑦	災害復興と公民館 ～復興現場から公民館の原点を考える～ 須坂市中央公民館（須坂市） 募集定員 80名	3月7日（日） 午後	近年大規模自然災害が全国各地で発生し、2019年10月には千曲川流域の県内各地も被災しました。本講座では、東日本大震災後、被災地の復興に果たす公民館や地域の役割を研究されている講師をお招きし、災害発生時や復興時の地域の取組を振り返るとともに、これからの地域づくりやそれに資する公民館活動のあり方を考えます。 講義 「地域のレジリエンスと公民館」 講師 東北大学大学院教育学研究科 准教授 石井山 竜平 日本公民館学会 副会長 事例発表およびパネルディスカッション ワークショップ
⑧	公民館・社会教育基礎講座 A 安曇野市 B 御代田町 C 山ノ内町 D 木曽町 E 下伊那 募集定員 各30名	延期 7/5(日) A 4月11日(土) B 5月15日(金) C 6月13日(土) D 6月20日(土) E 4月10日(金) 中止	生涯学習・社会教育の意義や公民館の果たすべき役割といった公民館の職員として知っておきたい基礎的な知識を学ぶとともに、地域づくりを推進する中心的な役割を担う公民館職員の意識の高揚とスキルアップを図ります。県内各地区で開催して、公民館職員・公民館関係者の地域ネットワークの形成を支援します。 ・各地区の内容・参加対象はそれぞれ異なります。開催1ヶ月前までに掲載されるホームページの講座案内をご覧ください。
⑨	地域づくりの支え手入門講座 6回講座（各講座個別の参加可能） ①塩尻市 ②阿智村 ③松本市 ④長野市 ⑤上田市 ⑥生涯学習推進センター 募集定員 初回100名 最終回80名 他各30名	①6月12日（金） ②7月20日（月） ③9月14日（月） ④11月30日（月） ⑤1月18日（月） ⑥2月初旬	6回の講座を通して、県内各地の地域課題に向き合う取組から、活動の成果や課題を学び、自らの地域活動につなげます。公民館や福祉、地域づくり活動など多彩なテーマを様々な立場の人と共に学ぶことにより、活動に対する視野とつながりを広げる機会とします。 ①「講座のオリエンテーションと講義」 ④「福祉のまちづくり」 ②「学びと自治」 ⑤「子どもと地域」 ③「中心市街地のまちづくり」 ⑥「講座の振り返り」 ・各講座の内容・会場等はそれぞれ異なります。開催1ヶ月前までに掲載されるホームページの講座案内をご覧ください。
⑩ A	生涯学習推進者実践講座 東信 未定 南信 南箕輪村 中信 安曇野市 北信 未定 募集定員 50名	東信 実施日調整中 南信 11月21日（土） 中信 中止 北信 5月17日（日） 実施日調整中	「地域づくり」を推進する方々が、自ら取り組もうとする課題の解決に向け、地域との連携・協働、仕組みづくりなど、より具体的に実践的な方法を習得することを目的とします。 県内4地区で開催し、身近な地域の課題解決を考えると同時に、受講者が課題の発見から活動の仕組みづくりまでの実践力を身につける研修を行います。 ・各地区の内容・参加対象はそれぞれ異なります。開催1ヶ月前までに掲載されるホームページの講座案内をご覧ください。
⑩ B	生涯学習推進者実践講座 ぶらっと楽しむまちづくり ～松本のまちづくりに学ぶⅡ～ （松本市街） 募集定員 30名	延期 11/6(金) 6月4日(木) 10:00～15:30	県内各地では特色あるまちづくりが行なわれています。そんなまちをぶらっと歩いてまち歩き企画を考えるノウハウを学び、自分のまちづくりの糧にしていく講座です。古いまちと新しいまちが混在する松本市。今回は、街路樹、看板、そこに生えている雑草など、身近にあるけれどもさりげなく通り過ぎてしまうような、様々な視点をテーマにまちを見て歩きます。 講義 「いろいろな視点でまちを歩いてみよう」 いろいろな視点で歩くまちなかトラベル 講師・案内 都市計画家 倉澤 聡

★地域と学校の連携推進研修

【共催】長野県公民館運営協議会

No	講座名・募集定員・託児・開催場所	実施日	研修の概要・連絡等
⑪	持続可能な社会づくりに向けた 教育の新しい在り方 募集定員 100名	10月20日（火）	地球的規模の環境問題など世界が直面する課題解決のためには、私たちひとりひとりの理解と身近な所からの行動が必要です。ESD（持続可能な開発のための教育）やSDGs（持続可能な開発目標）の理念や内容を学び、これからの学校教育や社会教育の場面で、私たちが「持続可能な社会」実現のためにできることを考えます。 講義 「ESD/SDGsが育む持続可能な社会（仮）」 講師 信州大学学術研究院 准教授 安達 仁美 □ 事例発表 ・高山村立高山小学校 ・塩尻市宗賀地区「どんぐりプロジェクト」 ワークショップ 「私たちの持続可能な社会づくり（仮）」 質疑応答

★地域の教育力向上研修

No	講座名・募集定員・託児・開催場所	実施日	研修の概要・連絡等
⑫	運動遊びで体とこころを育てる 託児可 募集定員 70名	延期 11/18(水) 6月30日(火)	生活習慣の変化に伴い、子どもたちの体力や運動頻度の変化が問題になっています。発達段階に適した運動遊びが脳に与える影響や、運動遊びを通してどのようにコミュニケーション能力が育まれるかを学び、実技では、バランスの良い運動遊びの例を通して、子どもと向き合う姿勢を学びます。 講義 「“見取り・聞き取り・やりとり”のコミュニケーション」 実技 「“やる気・元気・根気”のコミュニケーション」 講師 日本グループワークトレーニング協会 長野県レクリエーション協会 犬飼 己紀子 ・運動のできる支度、運動靴で参加
⑬	発達障がいのある人は、どのような 歩みをして大人になっていくのか ～様々なライフステージにわたる支援を考える～ 託児可 募集定員 250名	7月16日（木）	今年度も信州大学医学部の本田秀夫先生をお招きし、成人期までの様々なライフステージでどのような育てかたや支援をしていくことが望ましいのか、自閉症スペクトラムのある人に焦点をあててお話しいただきます。発達障がい研究の第一人者として、国内外で活躍されている本田先生のお話を1日お聞きできる貴重な機会です。 講義 「発達障がいのある人は、 どのような歩みをして大人になっていくのか ～様々なライフステージにわたる支援を考える～」 講師 信州大学医学部子どものこころの発達医学教室 教授 本田 秀夫

No	講座名・募集定員・託児・開催場所	実施日	研修の概要・連絡等
⑭	<p style="text-align: center;">託児可</p> <p>子どもの感情はどのようにして育つのか ～ちゃんと泣ける子に育てよう～</p> <p>募集定員 150名</p>	9月29日(火)	<p>子どもが抱える問題の深刻さが、さまざまな形で報告されています。この講座では、子どもの心理療法を専門とする講師をお招きし、感情コントロールの力を育てるためには、幼い子どもたちにどのように関わる必要があるのか、講義と演習を通して学びます。</p> <p>講義 「どのようにしてがまんする力は育つのか」 演習 「どのようにしつけをするのか」</p> <p>講師 東京学芸大学教育心理学講座 教授 大河原 美以 質疑応答</p>
⑮	<p>子育て支援に関する講座A・B・C・D</p> <p>A 茅野市 【情報モラル】 B 伊那市 【発達障がい】 C 長野市 【児童理解】 D 小諸市 【情報モラル】</p> <p>募集定員 各80名</p>	<p>延期(期日未定)</p> <p>7月8日(水)</p> <p>A 10月1日(木) B 10月1日(木) C 10月1日(木) D 11月11日(水)</p>	<p>【発達障がいに関する講座】 発達障がいの特性を理解し、その特性に応じて周りの大人がどのように関わっていくのがよいか、地域がどのように支援していけばよいか、ということなどについて学びます。</p> <p>【情報モラルに関する講座】 子どもたちのスマホ・タブレット機器等への依存傾向が進み、ゲーム症・障害など心身への影響が深刻化したり、ネット上のいじめや犯罪に巻き込まれたりする心配が高まっています。この講座では子どもたちを守るために、保護者を含めた地域社会の大人が、どのように考え行動したらよいかを学びます。</p> <p>講師 A 臨床心理士 筑波大学客員研究員 藤江 玲子 B 長野県教育委員会南信教育事務所 指導主事 C 千葉県 元学童保育指導員 元養護教諭 石田 かづ子 D 子どもとメディア信州 代表 松本市立菅野中学校 校長 松島 恒志</p> <p>・A～Dの内容・参加対象はそれぞれ異なります。開催1ヶ月前までに掲載されるホームページの講座案内をご覧ください。</p>

★施設開放（天体観測講座）

No	講座名・募集定員・託児・開催場所	実施日	研修の概要・連絡等
⑯	<p>みんなでポッチャ♪</p> <p>募集定員 50名</p>	8月22日(土) 午前	<p>ニュースポーツとして人気のポッチャは、年齢や性別、障がいの有無を問わず、誰でも参加できる競技です。</p> <p>今年のパラリンピックでも日本選手の活躍が期待されるこの競技を体験し、楽しむ機会とします。</p> <p>ポッチャ体験 会場：総合教育センター 講堂 ・総合教育センター・生涯学習推進センター 施設開放「チャレンジしのめ塾」の講座として開催します。 ・持ち物 なし</p>
⑰	<p>秋のスターウォッチング ～火星大接近と星空さんぽ～</p> <p>募集定員 50名</p>	10月21日(水) 10月23日(金) のうち条件の良い1日 19:00～20:30	<p>この秋は、2年前の大接近に匹敵する好条件で観測できる火星とともに、木星や土星を観測します。普段体験することのできない50cm大望遠鏡での観測や、塩尻星の会のみなさんから「星空解説」を受けながら秋の夜長をゆっくり学習する機会とします。</p> <p>○50cm大型望遠鏡（天体観測室）による観察 ○8cm望遠鏡（屋上）による観察と星空解説 講師 「塩尻星の会」のみなさん 総合教育センター教科教育部 専門主事 ・夜間および野外観察に適した服装</p>

☆研修講座受講の申込みについて

- ・所定の申込書を使用してFAX、E-mailまたは郵送でお申し込みください。申込書は、当センターホームページからダウンロードできます。また、「ながの電子申請サービス」で申し込むこともできます。（電話も可）
（※特別な申込が必要な講座：③、講座によっては参加対象が限定される講座：⑧・⑮もあります。）
- ・教職員の方で、「長野県総合教育センター連携」の講座を受講される方は、長野県総合教育センターを通じてお申し込みください。（※長野県総合教育センター連携講座：①・④・⑪・⑭）

☆研修講座受講に当たっての留意事項

- ・生涯学習推進センターの講座は、表記のあるものを除き、9：45～16：00です。
- ・「託児可」と明記されている講座は、託児を受け付けます。所定の申込書を使用してください。
- ・昼食は、総合教育センターの食堂を利用できます。（平日のみ）
- ・各講座の詳しい内容は、概ね1ヶ月前にホームページに掲載する講座案内（チラシ）をご覧ください。

長野県生涯学習推進センター

〒399-0711 塩尻市大字片丘南唐沢6342-4

TEL 0263-53-8822

FAX 0263-53-8825

E-mail shogaigakushu@pref.nagano.lg.jp

■お申込み・問合せは上記へお願いします。

■休日：国民の祝日、土・日曜日

12月29日から翌年1月3日まで

